

鹿角市民俗芸能フェスティバル

ふりゅうおどり
～「風流踊」と鹿角のユネスコ～

12月4日(日) 13時開演
(12時30分開場)

文化の杜交流館コモッセ 文化ホール

チケット 500円 (当日800円)

チケットは、コモッセ窓口・各市民センター・大湯支所・小坂町セパーム・ほくしか鹿鳴ホールで取り扱っています。

鹿角市民俗芸能フェスティバルは、市内外において伝承されている民俗芸能を一般に公開することで、無形民俗文化財などの価値と魅力を発信し、保存と伝承、継承者の発掘・育成につながる場となることを目的に開催しています。

今年度は、毛馬内の盆踊を含む民俗芸能「風流」が「風流踊」としてユネスコ無形文化遺産に登録される見通しであることから、同じく登録予定の岩崎鬼剣舞と川西大念佛剣舞との共演を行います。また、すでにユネスコ無形文化遺産に登録されている大目堂舞楽と花輪祭の屋台行事も出演します。

文化の杜交流館コモッセ ☎ 30-1504

特別出演

岩崎鬼剣舞

北上地方で伝承される鬼剣舞の源流と言われ、平安時代後期に広く伝わったとされます。念仏を唱えながら踊る「念仏剣舞」ですが、鬼などの面をつけて勇壮に踊ることから「鬼剣舞」と呼ばれています。踊りには念仏が入るものもありますが、基本的には詩章はなく、いくつかの基本動作の組み合わせで構成されます。

川西大念佛剣舞

奥州市衣川地区で、前九年・後三年の役で命を落とした亡霊を成仏させるために踊られるもので、踊りの前に念仏が唱えられます。踊りでは、太鼓と笛の音に合わせて、面を付けた舞人が頭を毛ザイ（馬の尾毛）、鳥ザイ（鶏の毛羽根）で覆い、扇、アヤ竹（金剛杖）と刀を振りかざしながら勇壮に舞います。

出演団体



国指定重要無形民俗文化財
毛馬内の盆踊



ユネスコ無形文化遺産
大目堂舞楽



ユネスコ無形文化遺産
花輪祭の屋台行事



国指定重要無形民俗文化財
岩崎鬼剣舞



国指定重要無形民俗文化財
川西大念佛剣舞

きりたんぽ発祥まつり

◇日時 11月3日(木) 10時～14時30分

◇発祥の地鹿角きりたんぽ協議会

◇場所 道の駅かづの あんとらあ

☎ 22-0555

日に日に寒さが増し、新米で作るきりたんぽが美味しい季節となりました。今年も市内各所の名店が集い、さまざまなきりたんぽ鍋を味わうことができる「きりたんぽ発祥まつり」を開催します。ぜひ会場にお越しいただき、鹿角発祥のきりたんぽ鍋をお楽しみください。

○発祥の地かづの伝承の味 山子鍋

目玉はなんといっても、発祥の味を再現した「雉出汁みそ風味の山子鍋」。きりたんぽ発祥の地である鹿角ならではの逸品。その昔、山子（山から材木を切り出す人々）が食べていたとされる雉を使った野趣あふれる味を、普段食べているきりたんぽ鍋と食べ比べるのがおすすめです。

なお、「山子鍋つゆ」は道の駅かづの あんとらあ売店で販売しています。

○たんぽ小町ちゃんの誕生日

鹿角といえばお馴染み、県内外各地のイベントで大活躍中のイメージキャラクター「たんぽ小町ちゃん」。お誕生日はきりたんぽの日の11月11日です。



新たなつながりの創出に向けて

八郎太郎三湖伝説シンポジウム

◇日時 11月26日(土)

14時～17時

◇場所 感動鹿角パークホテル

プログラム

第1部

基調講演「三湖伝説の可能性について」

◇講師 門脇 光浩氏（前仙北市長）

第2部

パネルディスカッション「八郎太郎を起点とした広域連携について」

◇コーディネーター 関 厚（鹿角市長）

◇パネリスト 田口 知明氏（仙北市長）、鈴木

雄大氏（潟上市長）、天野 莊平氏（潟船保存会）、

沢田石 泰浩氏（（一社）秋田県観光連盟）

◇コメンテーター 門脇 光浩氏（前仙北市長）

十和田草木に生まれた八郎太郎にまつわる伝説は、秋田県や青森県で語り継がれてきました。

十和田湖と田沢湖、八郎潟を結ぶ八郎太郎三湖伝説に焦点をあて、観光資源として活用することで、「ゆかりのある地域」での新たなつながりを創出する機運を高めるため、シンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、ゆかりのある地域間での広域連携について、基調講演とパネルディスカッションで考えます。参加は無料ですので、お気軽にご参加ください。

◇申込方法 電話または申し込みフォームからお申し込みください。

申し込みフォームはこちら



産業活力課 観光交流班 ☎ 30-0248